

2026年度日産財団 理科教育成果発表会を開催

公益財団法人日産財団は2026年7月31日、都内の大手町サンケイプラザホールで「2026年度日産財団 理科教育成果発表会」を開催しました。日産財団理科教育助成における2025年度助成対象校34校のうち、理科教育賞大賞候補に選出された小・中学校4校が成果発表をおこないました。「意見交換セッション」では、2026年度助成対象校の先生方をはじめとする来場者が、成果発表をした各校の先生に実践内容を詳しく聞くなど、コミュニケーションを重ねました。



理科教育成果発表会
2026年度助成対象校の先生方が来場

理科教育賞大賞候補4校が成果発表

「理科教育成果発表会」は、従来の「理科教育賞贈呈式」を、成果共有のねらいから2025年度（津波警報発令で開催中止）に名称変更したものです。

成果発表では、理科教育賞大賞候補4校より、研究を主導してきた先生方が登壇し、プレゼンテーションおよび選考委員との質疑応答にのぞみました。

伊奈町立小針北小学校



伊奈町立小針北小学校の阿久津直人先生

伊奈町立小針北小学校の阿久津直人先生は、「持続可能なバラ栽培とまちづくりへの参画 ～実践体験型PBLの実践とSTEAM教育の推進～」という研究の成果を発表。町の記念式典でのバラ40株を寄贈されたことをきっかけに、バラの栽培や3Dプリンタによる商品開発を通じ、児童たちが課題の発見と検証し、価値を創造する学習を築いていった過程を伝えました。

鶯谷中学高等学校



鶯谷中学高等学校の甘利翠先生

鶯谷中学高等学校の甘利翠先生は、「生徒の生きる力を育てる、普通教室における理科実験法の工夫と開発・実践」について成果を発表。校舎改築で理科実験室が使えなくなった事態を受け、マイクロスケール実験を実践したところ、生徒の実験への主体性のほか、教員間のコミュニケーション活性化など副次的な効果も多く得られたことを伝えました。

高槻市立奥坂小学校



高槻市立奥坂小学校の大野圭司校長と諏訪直生先生

高槻市立奥坂小学校の諏訪直生先生は、「論理的思考力を育む理科教育 ～デジタルツールで思考過程を表現～」という実践研究の成果を発表。実験で児童たちが手順をこなすことばかりにとらわれるという課題意識から、思考を見える化することを考え、マインドマップ作成ソフトのフロー図で手順とその理由を表現する活動に取り組んだことを伝えました。

奈良市立平城西小学校

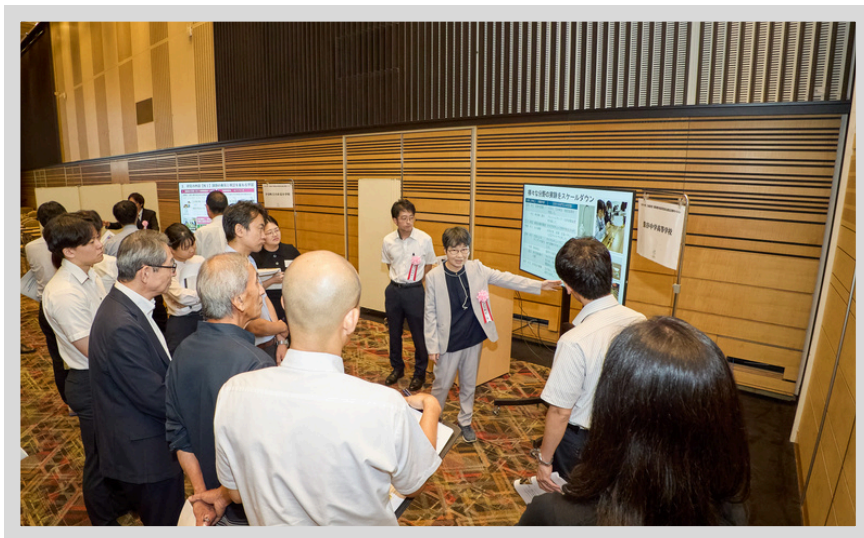


奈良市立平城西小学校の西口美佐子校長と春日光先生

奈良市立平城西小学校の春日光先生は、「原体験を重点に置いた理科・生活科教育 ～めざせ、平西生き物ミュージアム～」という実践研究の成果を発表。学校全体を生き物と触れあえる「ミュージアム」にし、「出会う」「関わる」「深める」「広げる」のステップで児童たちに「原体験」の機会をあたえる取り組みを伝えました。

選考委員との質疑応答では、発表者の先生方が実践の工夫例や感想などを述べ、選考委員からの評価の声を聞くなどしました。

「意見交換セッション」で来場者と発表者が意見交換



「意見交換セッション」の様子

選考委員による控え室での大賞・優秀賞選考と併行し、会場後方で「意見交換セッション」をおこないました。2026年度助成対象校の先生方をはじめとする来場者が、成果発表を終えた4校の先生に質問をしたり感想を伝えたりしました。

マインドマイスターを選んだ理由は何だったのですか？



(マップ内の要素を) 組みかえできるからです。ヒョイっとつながれる。一発でできることが選んだ理由ですね！

簡単なのは、キャップつきの空き缶です。少量お湯を入れ、アルコールランプで30秒ぐらい加熱すると、全体が水蒸気に満たされるので、すぐキャップをして置いておくだけで、空き缶がベコッとへこみます。



(圧力と大気圧の) 実験ツールについて具体的に教えてほしいのですが。

成果の普及につながりそうな具体的なやりとりが多く聞かれました。メモをとっている先生の姿も見られました。

小針北小学校に大賞

鶯谷中学高等学校・奥坂小学校・平城西小学校に優秀賞

賞の発表では、選考委員長の長谷部伸治氏（京都大学名誉教授）より、伊奈町立小針北小学校の大賞と、鶯谷中学高等学校・高槻市立奥坂小学校・奈良市立平城西小学校の優秀賞の受賞がアナウンスされました。表彰式では、各校の校長と発表者が、日産財団理事長の久村春芳より賞状・トロフィーを受け取りました。みなさま、おめでとうございます。



理科教育賞大賞を受賞した伊奈町立小針北小学校